

掛軸をつくらう！



今回のこども工作では「掛軸」の作り方を紹介します。

絵や書を紙や布を使って保護し、より美しく見えるように整え、飾ることが出来るようにすることを「表装」といいます。今回は「表装」の代表、「掛軸」に挑戦します。「掛軸」とは作品を壁などにかけることが出来るようにしたものです。

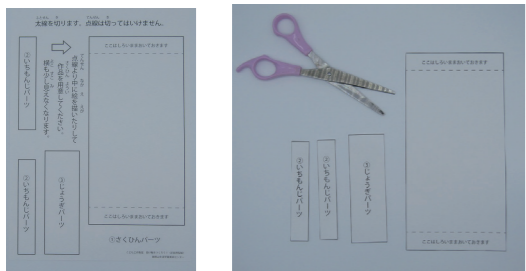
※「掛軸」については工作レシピとは別に説明用のシートも用意しています。もう少し知りたい人はそちらも見てみてくださいね！

用意する材料	つかう道具
<ul style="list-style-type: none"> 印刷した型紙 折り紙 4枚 (台紙用: 同色3枚、いちもんじ用: 1枚) ひも 1本 ストローやわりばし 1本 	<ul style="list-style-type: none"> はさみ セロテープ のり 定規

型紙が印刷できない時は大人の人と一緒に次のものを用意してね！

- ① さくひんパーツ: 11×22 (cm)
- ※ 絵を描く時は上下2cmをのりしろとして白いまま置いておきます。
- ② いちもんじパーツ: 11×2 (cm)
- ③ じょうぎパーツ: 11×4 (cm)

①



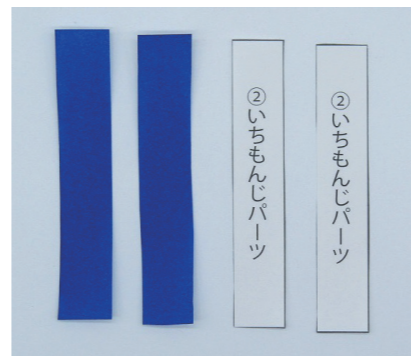
【掛軸をつくる準備をします】
型紙を印刷して、それぞれを切り取ります。

②



「①さくひんパーツ」の点線の中に絵を描いたり、好きな写真をはったりして、掛軸にする作品を用意します。

③



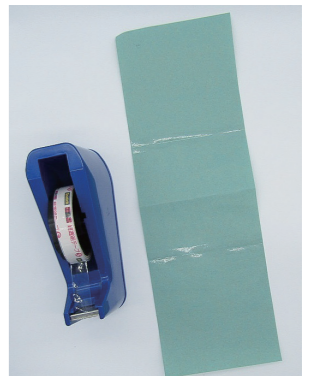
「②いちもんじパーツ」と同じ形に折り紙を切り取ります。「いちもんじパーツ」は2枚用意してください。

④



③で作った「さくひんパーツ」の上下に3で作った折り紙の「いちもんじパーツ」を貼り付けます。点線が隠れるように貼りましょう。

⑤



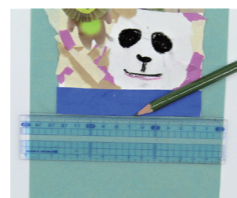
③で使用したものと違う折り紙をかき重ならないようにセロテープで3枚繋げて貼り、台紙をつくります。

⑥



【掛軸の表をつくります】
⑤で作った台紙を縦長になるように机に置きます。上から「③じょうぎパーツ」の縦の長さ分 (12cm) のスペースを空けて④で作った「さくひんパーツ」をなるべく真ん中になるように貼ります。

⑦



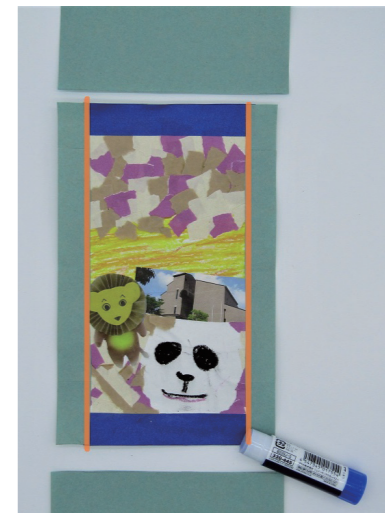
⑥で貼りつけた「さくひんパーツ」の上下を台紙ごとカットします。定規などで1度線を引いておくとき切りやすくなります。

⑧



⑦に続いて「さくひんパーツ」の左右も台紙ごとカットします。

⑨



⑦でカットした左右の紙を「さくひんパーツ」の左右に5mm程重ねてそれぞれ貼り付けます。

⑩



左右のどちらかを揃えながら、
⑨と同様に上下も5mm程重ねて
それぞれ貼りつけます。
※上の画像の様に片方の長さが
合わなくなるのが正解です。

⑪



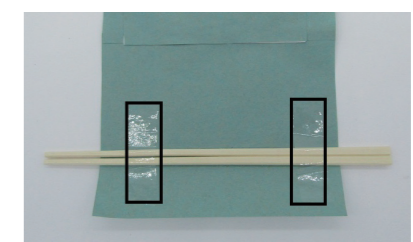
⑩ではみ出したところをカット
します。
⑦と同様に定規などで線を
引いておくとよいでしょう。

⑫



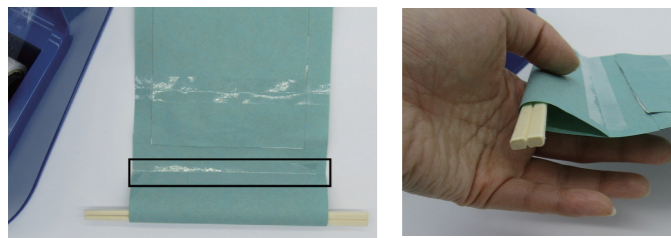
【掛軸の裏をつくります】
裏返して、下から
「③じょうぎパーツ」を横長
になるように当てて(4cm)
線を引きます。

⑬



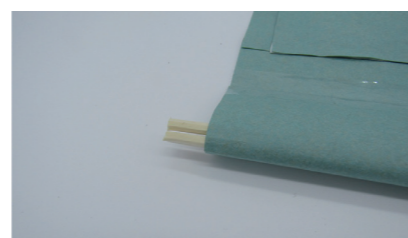
⑫で引いた線に沿って、わりばしやストローを固定し
ます。これが軸になります。
※後で両端をカットするのでストローなど扱いやすい
ものがよりよいでしょう。

⑭



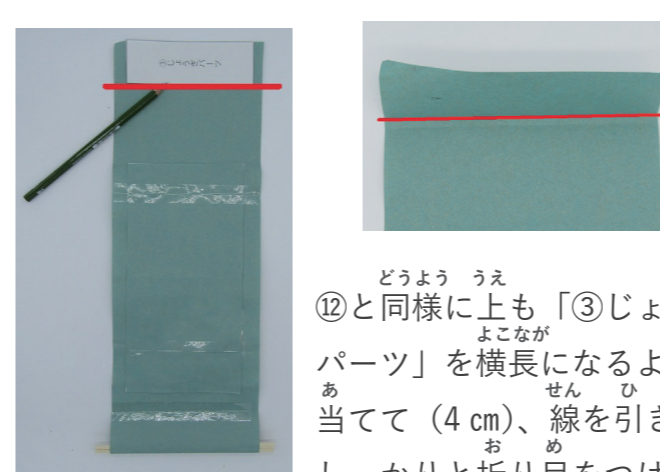
⑬で固定した軸が一番下に来るように紙の下端
を折り上げ、セロテープで固定します。
しっかり折るのではなく、丸い感じにするのが
ポイントです。

⑮



軸の両端を適当な長さでカットします。全体の
バランスをみて残す長さを決めましょう。
わりばしなど、固くて切るのが大変な場合は
大人の人にお申し願ひしましょう。

⑯



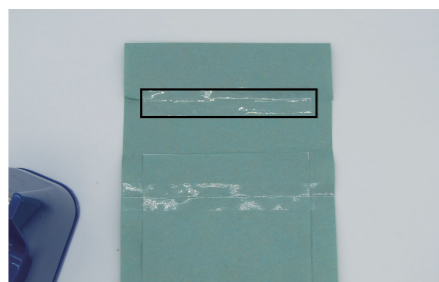
⑫と同様に上も「③じょうぎ
パーツ」を横長になるように
当てて(4cm)、線を引き、
しっかりと折り目をつけます。

⑰



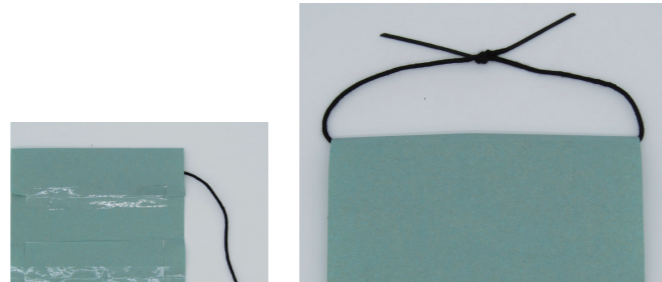
適当な長さのセロテープを紙の両側に貼ります。
この時、⑯で引いた線にかかるように貼りましょう。
※ひもを通した時に傷みやすい部分を強くします。

⑱



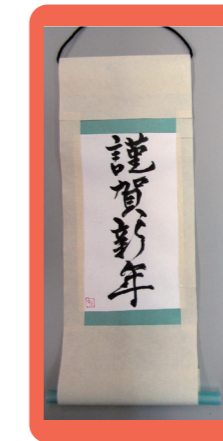
再度しっかりと折り目をつけてセロテープや
のりで貼りつけます。
このとき後でひもを通すのでスペースは残して
おきましょう。

⑲



ひもを通して結びます。
結び目はくるくると移動させて隠しましょう。

かんせい
完成!!!



好きな絵や写真を用意して、自分だけの掛軸をつくってみましょう。
折り紙、ストローやわりばし、ひもといった一緒に使う材料の色・柄を
変えるだけで印象は大きく変わります。いろいろ試してみてくださいね。